

令和7年  
2025年

11月7日  
金曜日

第11829号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6カ月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



三田牛の生体競り「三田牛品評会」で黒勢が最優秀賞を受賞……P3

## 注目のヘッドライン

【11月の相場見通し】牛肉

…詳細はP2~3

三田牛の生体競り「三田牛品評会」で黒勢が最優秀賞を受賞

…詳細はP3

- ▶【11月の相場見通し】牛肉……………P2~3
- ▶三田牛の生体競り「三田牛品評会」で黒勢が最優秀賞を受賞……………P3
- ▶[畜産物卸売価格・10月]和牛去勢A4価格は前年同期比139円高……………P3
- ▶加工事業は収益基盤の安定化、海外の課題解決を進める—日本ハムの中間決算会見②……………P4
- ▶英国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止……P4~5
- ▶プリマハム決算会見③、グループ全体でプライムデリカ改善図る……………P5
- ▶プリマハムの人気商品や公式キャラクターが「ガシャポン」となって初登場……………P5
- ▶引き続き収益力強化する—伊藤ハム米久HD中間決算会見②……………P6
- ▶米国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止……………P6
- ▶【関東の輸入豚肉現物相場】Cはロイン、Fスソ物中心……………P7
- ▶【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともにスソ物堅調……………P7
- ▶農林水産物・食品の輸出額、9月は1463億円で前年同月比16%増—農水省……………P7
- ▶[輸入牛現物相場]先高観を見越した引き合い続く……………P8
- ▶【ブロイラー市中現物相場】節約志向も背景に国産生鮮ムネ高止まり……………P8
- ▶[資料]畜産物卸売価格の推移……………P9
- ▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]6日……P10
- ▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]6日…P11

りんご和牛  
**信州牛**  
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉  
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する  
**ビセラル株式会社**

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12  
営業一課 / ☎(03)3919-2929 FAX(03)3919-2930  
総務 / ☎(03)3919-2980 FAX(03)3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

## 【11月の相場見通し】牛肉

### 【牛枝肉】和牛はジリ高推移、交雑牛と乳牛は天井か

【東京】11月は3連休が2回あり、東京市場は約8200頭の上場が計画されている。1日当たりの頭数は多く、11月29日に臨時市場が予定されているが、開場日が少なく、昨年から500頭ほど少ない。

alicの全国出荷頭数の予測でも、交雑牛は前年並みだが、和牛は前年同月を約8%、乳牛は約14%も下回るとみている。また、共励会なども多く開催されることから、相場が大きく下がることはないだろう。

年末年始に向けた動きが出るのは早くも中旬以降。引き合いが強まるのは後半の3連休前後からか。ただ、交雑牛はすでに昨年11月の相場を超えている。「引き合いは強いが、これ以上上げても末端がついてこれない」（卸）との見方が強く、相場を維持するにとどまるか。乳牛は年末に向けて引き合いが強まると予想されているが、これ以上相場が高騰すれば輸入牛肉や交雑牛への切り替えが進む。品不足から高まった経産牛需要は継続すると予想する。

【大阪】年末を前に今後の伸びに期待したいところだが、目下、量販店、外食店共に販売は引き続き低迷しており、特に大阪・関西万博が終了したことで観光地や万博開催地周辺のインバウンド需要が落ち着いてきているため、高価格帯の販売に陰りがみえている。

11月は相場の上昇期ではあるが、それに合わせて生産者も期待を寄せて出荷頭数が増えてくる。出荷が増えると荷余り傾向につながり、冷え切った環境下で伸ばしていくのは難しい。この先、相場が上昇してくるとしても11月中旬から下旬にかけて、一定程度の伸びにとどまりそうだ。

【福岡】消費者の節約志向は根強いが、季節の共励会需要と気温の冷え込みに伴う鍋物商材の動き出しが枝相場を下支えするか。和牛は人気銘柄や産地、上場頭数次第でまちまち。外食や鍋物需要の活性化が期待される。交雑牛は上場頭数次第

とはいえ、量販店向けの安定需要が下支えし、基調はもちあいか。

月平均は和牛A5等級で2550~2650円、A4等級で2300円、交雑牛はB3等級で1600円台。人気の和牛経産はまちまちだがA2で1500円中心か。

### 【牛部分肉】ウデ、モモ先行で動く、ロインはまだ鈍いまま

【関東】冬物シーズンに入ったが、まだ、量販店や外食需要は伸び悩んでおり、「荷余りは回避しにくい」（卸）状況が続いてる。月初の3連休にはあまり期待する声はきこえてこなかったが、紅葉が始まれば観光地向けに、また、月後半には忘年会用に徐々に引き合いが出てくるだろう。

もう一段気温が下がれば鍋物需要が本格化し、引き合いの中心はスライス材に変わってくる。卸各社は唱え値を上げており、まずウデ、モモなどが引き合いを強めてくると予想される。ロイン系は輸出が伸び悩んでいることから、模様眺めのところも。交雑牛は相場高が続いているが、和牛3等級、交雑牛2~3等級中心の動きは11月も続くだろう。

【関西】物価高に伴う消費減退で需要はまだまだ弱い。売れ筋はこの時期でもやはりブリスケ、チマキ、スジ、ミンチ材といった低価格部位中心。和牛だけでなく、交雑牛も荷余りが目立ってきている。

夏から作る冷凍在庫もかなりたまっており、コロナ以降、量販店でも冷凍肉の販売への抵抗感がなくなってきた中では、年末に冷凍在庫を活用するケースが増えると、この時期の仕入れは活発化しない。

ただ、年々乳牛の手当てが難しくなる中、その代替需要が和牛、交雑牛、輸入牛肉へと流れており、その部分で多少の引き合いはみられそうだ。年末らしい動きになるのは11月の後半以降か。

### 【輸入牛肉】不足感が解消するも、年末に向かって相場高

豪州産チルドは数週にわたって相場がじわりと

上昇している。

現地オフア価格が上昇していることに加え、現地仕入れを抑えていることが理由だ。年末に向かってさらなる上昇も考えられることから、カタ、モモ、ロイン系などの引き合いが強い。さらに、この時期としては珍しく、ポイント、ナーベルなども動いている。各部位の相場は決して安くはないが、先高感・品薄感から、それなりの数量が動き、値頃観があれば部位を問わず引き合いがあるようだ。

米国産についても、チャックアイロール、ショ

ートプレートを中心に引き合いがある。豪州産ほどの強さはないが、量販店などを中心に年末に向かっての先高観から引き合いが出ている。

フローズンは引き続き、量販店向け、外食店向け共にひき材中心の引き合いとなっている。相場は大きな変化がないが、豪州産カウミートの相場が上昇傾向にある。

チルドの代替需要がないということは、末端の売れ行きはまだ好調とはいえないということだろう。しかし市中在庫の懸念から、今後は荷動きが活発化すると思われる。

## 三田牛の生体競り「三田牛品評会」で黒勢が最優秀賞を受賞

兵庫県のトップブランド「三田牛」を生体で審査する「令和7年三田農業まつり三田牛品評会」が1日、三田JA総合センターで開催された。全国でも珍しい生体牛を審査する三田牛品評会。三田市らが実施する農業イベント「さんだ農業まつり」の一環として年に1度開催されている。

13頭が出品され、このうち最優秀賞・兵庫県知事賞には、(株)黒勢出品の雌牛を選出。同牛は審査後の競りで1頭当たり666万1千円の最高値でミムラフーズ・東京日本橋ウエスタが落札した。

黒勢の勢戸章示社長は「神戸うすなが牧場のET(受精卵移植)牛。強い牛で、飼料を与えれば与えるだけしっかり食べて、手がかからなかった。理想と

するフットボール型の体型に育ってくれた。筋肉太りしており、われわれがいう“むきぶくれ”した体型



だった」と受賞を喜んだ。

その他の入賞牛の出品者は次の通り。

優秀賞1席 勢戸章示(470万1千円、購買者＝ミムラフーズ・東京日本橋ウエスタ)▷同2席 春日敏和(450万円、丸優)▷同3席 美野田充(350万円、同)

## 【畜産物卸売価格・10月】和牛去勢A4価格は前年同期比139円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた10月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は147万9100頭(前年同月比1・4%増)、豚肉「極上」「上」の価格は東京が558円(62円安)となった。成牛のと畜頭数は9万3720頭(5・8%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2230円(139円高)、交雑牛B3が1585円(23円高)となった。

[豚] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が6万3825頭(0・9%増)、中旬が5万2171頭(1・8%増)、下旬が6万7033頭(2・4%増)。東京の

価格は上旬が563円(56円安)、中旬が532円(94円安)、下旬が571円(46円安)となった。

[牛] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が4311頭(5・2%減)、中旬が3813頭(15・9%増)、下旬が4039頭(14・6%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2221円(130円高)、中旬が2202円(136円高)、下旬が2256円(147円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1577円(4円安)、中旬が1563円(21円高)、下旬が1605円(48円高)となった。

## 加工事業は収益基盤の安定化、海外の課題解決を進める —日本ハムの中間決算会見②

日本ハムが4日に行った、2026年3月期第2四半期決算会見での松本之博常務執行役員加工事業本部長(写真)による加工事業本部の説明内容は次の通り。

加工事業の上期実績は減収減益という結果となった。売上高については、北米買収企業の製造数量が寄与して増収となったが、国内のハム・ソーセージ、調理加工食品の販売が減少した。上期を四半期ごとに分けると、第2四半期にハム・ソーセージ、調理加工食品共に回復傾向はみられ、下期もこの基調が続いている。国内事業利益は前年同期比13億円の減少となっているが、DX・IT関連の一時費用の比重が大きく、これを除いた実質的な収支は2億円の減少に収まっている。

海外については、北米の鶏肉価格の高騰や買収したタマラック・フーズ(米国ジョージア州)の稼働が計画通り立ち上がらず、大幅な減益要因となった。また、タイについても製造工場の回復が遅れており、海外の加工事業は見通しを下方修正している。

発売40周年を迎えたシャウエッセンの取り組みでは、ボールパークとのシナジーを活用したマーケティングに加え、海外での展開を加速している。海外アジア各国での展開を今年から開始しており、ベトナムでは現地にある自社のショップを活用して現地生産、現地販売を行っている。中国でも以前から一部取り組んできたが、上期から本格的に販売を強化している。タイ、インドネシアでは、今期中の発売を目指している。特にインドネシアでは、ハラールに対応した鶏肉原料のシャウエッセンを開発した。このように、アジアを中心としたシャウエッセンのグローバル展開を進めている。

通期の事業見通しは第2四半期の業績を受けて下方修正し、売上高5450億円(前年比0.5%増、



前回予想5500億円)、事業利益105億円(4.0%増、120億円)、このうち国内事業利益は110億円(2.8%増、113億円)、海外事業損失5億円(前回予想は事業利益7億円)、事業利益率1.9%(前回予想2.2%)を見込んでいる。

一時コストなどを除いた国内事業利益の通期合計は127億円を見込み(一時コストは17億円のマイナス要素となる見込みで、合算すれば110億円の国内事業利益)、前期と比較して20億円程度増加している。海外については北米の原料価格が落ち着いてきているのと、現地で価格改定を行っているので収益の改善は進むが、前述のタマラック社の稼働が完全復調とはいえないため、下方修正している。ただし、日本から北米に人材を多数派遣しており、工場稼働を最優先に取り組んでいる。体制は整ってきており、来期には状況の改善がみられると考えている。タイについては、先日CPFとの合弁も発表させていただいた。こうした連携により、タイ国内販売ルートが強化されつつあり、課題の一つであるタイの加工品工場の回復につなげていきたい。

国内は収益率が改善しているなので、これを守りながら安定した収益基盤を確立していく。海外は課題が多いが、マーケットの大きさや将来性はポテンシャルがあると思っている。課題解決によって加工事業の将来につなげていきたい。(連載続く)

## 英国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所は5日、英国の家禽飼養施設

において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認さ

れたことから、発生州および制限区域に含まれるイースト・サセックス州、ウェスト・サセックス州、リンカン

シャー州から輸出される生きた家禽、家禽肉等については、1日から輸入を一時停止したと発表した。

## プリマハム決算会見③、グループ全体でプライムデリカ改善図る

【田悟生産本部長(写真)】結果として“人時生産性”については、前年を捉えることができなかった。人時生産性については、以前は比較する数値として非常に便利だったが、近年は量目の変更など、過去に変動していなかった要素があまりにも大きく動いてしまっているということがあり、過去と比較する数値としては、あまり適切でないと考えている。直近の条件の取り方によって数字が大きくぶれてしまうので、現在は数年前からお話している“生産効率”という指標値を生産の中では重視している。これによると、ハム・ソーセージでは4工場の合計で102・3%、加工食品の子会社合計でも102%と、生産効率指標値のアップが確認されている。これは条件によってあまり変わらない数字なので、このデータからは生産性アップについては上期も堅調であると認識している。

下期の政策について、一つ目は生産性のさらなるアップを図る。計画に従い、最新でスピードの速い、特に包装機器などの導入を進めている。PI(プライム・イノベーション)活動とセットで生産性改善を進める。特に古い設備、稼働率の高い設備を優先して取り組む。二つ目は生産能力の拡大であり、下期は茨城工場のウイナーソーセージラインのキャパシティの大幅増を計画。

これまでやむなくお断りしてきたような得意先ごとの専売品や業務用製品の取り込みが可能となって



くるので、価値のある商品を開発して数量拡大を進める準備ができる。三つ目は自動化と省人化の推進だ。AIを活用し、独自開発した自動搬送・自動積載装置の導入などで自動化とラインの連続化、これを同時に実現するような投資を進め、自動箱詰め等もこれに加えて行い、さらにAIを加えた不良品の選別機なども導入していき、品質も含めて自動化、省人化を行っていく。

グループ会社については、特にプライムデリカの改善に集中していくが、プリマハムグループ全体の協力体制により、プリマハム本体の生産・開発・営業、さらに関連するグループ会社を加え、各組織の強みを生かして、プライムデリカと協業して開発を進める会議を設置して活動を始めている。なるべく早く商品化を実現して、収益回復に向けていきたいところだが、本格回復にはもう少し時間がかかるとみている。(連載続く)

## プリマハムの人気商品や公式キャラクターが「ガシャポン」となって初登場

プリマハムは(株)バンダイとのコラボレーションにより、プリマハムを代表する人気商品や公式キャラクターをミニチュア化。11日から、「プリマハム ミニチュアチャームコレクション」として、全国のガシャポン自販機シリーズから順次登場する。プリマハムの人

気商品「香蕉あらびきポーク」や「スマイルUP! ロースハム(3連)」に加え、同社公式キャラクターである「あらびき星人ソップリン」など、5種類のミニチュアチャームコレクションを通じ、プリマハムをより身近に感じてもらう。

## 引き続き収益力強化する—伊藤ハム米久 HD 中間決算会見②

伊藤ハム米久ホールディングスが4日に行った、2026年3月期第2四半期決算説明会での中尾周平常務執行役員経営戦略部長(写真左)による上期のセグメント別実績および通期予想の説明内容は次の通り。

加工食品事業の上期実績で、経常利益は39億円と前年比は横ばい、前回予想との比較ではプラス3億円となった。増減の内訳については、24年10月に実施した価格改定による単価要因を中心にプラスがあったが、原材料価格や物流費の上昇、需要低迷による販売数量の減少の影響などによって相殺され、前年比では横ばいとなった。食肉事業の上期の経常利益は105億円で前年同期比46億円増加、前回予想との比較ではプラス6億円となった。前年同期比の増益は主にアンズコフーズ社の収益回復、国産鶏の生産事業の好調、国産豚事業の採算改善によるもの。アンズコフーズ社の増益は堅調な北米の牛肉需要や欧州の羊肉需要による販売拡大に加え、決算期変更の影響がある。

セグメント別の25年度の見通しについて、加工品事業の通期の経常利益は100億円(前年同期比プラス3億円、前回予想比マイナス8億円)を見込む。上期総括と同様、原材料価格や物流費の上昇を吸収することとなるが、販売数量が期初の見立てよりも低下していることを踏まえ、前回予想を見直した。

食肉事業の通期の経常利益は195億円(前年同期比プラス72億円、前回予想比プラス13億円)を見込む。上期のけん引役だったアンズコフーズ社、国産鶏、国産豚が下期も堅調に推移するとの見立てによるもの。特に国産鶏の生産事業については、期初の想定を上回っており、予想を引き上げている。加工食品事業、食肉事業共に今回開示した通期見通しから利益を積み増せると考えており、経常利益300億円の



中尾 周平 伊藤ハム 代表取締役社長 浦田 寛之 伊藤ハム 代表取締役社長 野澤 古

目標を目指して引き続き収益力の強化に努めていく。

主な質疑応答の内容は次の通り。

—上期の業績の受け止め、また下期の意気込みについて。

(浦田社長) 上期の手応えは「もっとできたのではないか」というのが率直な感想。食肉事業は外部環境が良かった中、自助努力でやるべきこともやれたと思う。具体的には、取引条件の改定は昨年度の下期から取り組んできた。買う条件と売る条件のズレをなくすることができた。鶏肉の処理加工の現場では付帯設備の入れ替えに伴う歩留まり向上などが想定通りとなり、基礎収益力の向上が進んでいる。加工食品事業はいろいろ複雑な要素があって苦戦している。原材料のさらなるコストアップ、物流費の上昇もあるが、変化対応のスピード感は今考えれば不十分であった。

例えば、消費者の節約志向が進んでいることに対し、手に取りやすい商品をもっと早く出せたのではないか。今年の上期では、グランドアルトとアニメ作品とのコラボは当初絶好調だったものの、後半では息切れがみられた。その息切れの兆候がみられたら即座に次の打ち手をできたかどうか。そういうところで反省すべきところがあった。逆にいえば、こうした点の改善の積み重ねで下期に期待が持てると考えている。

(連載終わり)

## 米国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所は5日、米国の家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、イリノイ州ヴァーミリオン郡から輸出され

る生きた家禽、家禽肉等については、1日から輸入を一時停止したと発表した。

## 【関東の輸入豚肉現物相場】 Cはロイン、Fスソ物中心

〔フローズン〕関東でも木枯らしが吹くなど、朝晩の冷え込みが強まっており、鍋物需要も本格化してきた。小売店などでは解凍スライス品の訴求もみられるが、引き続きベリーなどの引き合いはそれほど強くはなく、在庫水準は依然として高い。ピクニックなど、スソ物の荷動きは堅調に推移している。

〔チルド〕国産相場が一時期に比べると上昇傾向にあり、鍋物需要も強まる中で全体的に荷動きは底堅い。ロインなどを中心に堅調な引き合いがみられるほか、スソ物やベリーの荷動きも悪くない。

### 【輸入豚肉現物相場】 (関東仲間冷蔵庫渡し)

キログラム、税抜き

	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・バックス	790中心	→
		ウデ	780中心	→
		モモ	790中心	→
	デンマーク産	ベリー	930中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM	860中心	→
		テンダーロイン	860中心	→
	フランス産	シートベリー	920中心	→
カタローズ		880中心	→	
チルド	米国産	ロイン (FLON)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		山付ベリー	1,230中心	→
	カナダ産	バックス	830中心	→
		テンダーロイン	1,060中心	→
		ベリー	1,200中心	→

## 【関東の国産豚肉現物相場】 C、Fともにスソ物堅調

前週は連休明けということもあり、稼働日の関係で1日当たりの出荷頭数が増加。全国と畜頭数は、7万

頭を大きく上回る日もみられた。ただ、枝肉相場はそれなりにもちあっており、上物価格600円前後で推移している。引き続きスソ物の荷動きは堅調。また、11月に入ってから、平年を下回るような寒さが続いており、一部鍋物商材にも引き合いがみられる。

フローズンも引き続きウデやモモといったスソ物の荷動きは堅調。冬場の需要増加に向けてひき材の引き合いは強まっている。一方でバラやロインなどの荷動きは鈍い。

### 関東の国産豚カット肉相場

円/キログラム

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタローズ	1,050~1,100	カタローズ	950~1,000
ウデ	760~800	ウデ	760~780
ローズ	1,020~1,080	ローズ	950~980
バラ	1,100~1,200	バラ	980~1,020
モモ	760~800	モモ	760~780
ヒレ	1,000~1,050	ヒレ	930~960

## 農林水産物・食品の輸出額、9月は1463億円で前年同月比16%増—農水省

農水省はこのほど、2025年1~9月の農林水産物・食品の輸出額を公表した。1~9月累計額は1兆2042億円(前年同期比15.1%増)。また、9月単月は1463億円(前年同月比16.1%増)となった。

1~9月の累計額を品目別にみると、牛肉は490億8千万円(12.9%増)、豚肉は21億300万円(30.

5%増)、鶏肉が17億3200万円(4.1%減)となった。

一方、9月単月では、牛肉が54億800万円(5.2%減)、豚肉が3億600万円(78.9%増)、鶏肉が2億5300万円(15.0%増)となっており、牛肉に関してはカンボジア、タイ、ベトナム向けが減少した。

## 【輸入牛現物相場】先高観を見越した引き合い続く

豪州現地では各国の需要が拡大している影響もあって、プライマルカットが輸入しづらい。そうした理由もあって、これまでフローズンを使用していた顧客がチルドを凍結して使用する場面もみられるようになるなど、チルドの引き合いが強まっている。末端需要は相場高の影響もあって冷え込んだ状態が続いてい

るが、カタ、モモなどの赤身需要に加え、先高観でロインやバラも動いている。米国産チルドについても豪州産ほど値動きがないが、先々を見越しての問い合わせが増えている。

フローズンでは豪州産はひき材需要が強い。ハイリーンは市中在庫がそれなりにあるので価格上昇に一服感があるが、ローリーンはさらに上昇していく見込み。米国産も韓国、インドネシアなどの買い気が強まっており、今後相場が上昇していくとみられる。

【輸入牛肉現物相場】 円/キロ

		グラス	ショートグレイン
豪州産	トップサイド	1,350 ~ 1,450	1,430 ~ 1,550
	シックフランク	1,350 ~ 1,450	1,380 ~ 1,500
	アウトサイド	1,300 ~ 1,380	1,350 ~ 1,400
	ポイント	1,300 ~ 1,380	1,420 ~ 1,500
	ナーベル	1,150 ~ 1,200	1,150 ~ 1,350
	ランブ	1,600 ~ 1,750	1,750 ~ 1,950
	クロッド	1,340 ~ 1,380	1,370 ~ 1,450
	チャックロール	1,450 ~ 1,540	1,580 ~ 1,750
	チャックテンダー	1,400 ~ 1,500	1,500 ~ 1,600
	キューブロール	3,200 ~ 3,500	3,500 ~ 4,500
	ストリップロイン	2,400 ~ 2,550	2,650 ~ 2,800
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,500	4,600 ~ 4,800
	豪州産	チャック&ブレード	-
豪州産	ポイント	1,320 ~ 1,450	-
	ナーベル	1,100 ~ 1,150	-
	カウミート	1,100 ~ 1,220	-
F	トップサイド	1,300 ~ 1,380	-
	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,150 ~ 1,250	1,030 ~ 1,080
	ボンレスショートトリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,000	-
	ボンインショートトリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,400 ~ 2,600	2,300 ~ 2,400
	ストリップロイン(チョイス)	4,300 ~ 4,800	-
	リブアイロール(リップオン)	5,200 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,700 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
	チャックアイロール(チョイス)	2,350 ~ 2,650	2,150 ~ 2,250
	同(プライム)	2,400 ~ 2,700	-

## 【ブロイラー市中現物相場】節約志向も背景に国産生鮮ムネ高止まり

◇国産物 本州では最低気温が10度を下回る日も多く、鍋物、煮物での調理機会が増加したことで、国産生鮮モモの動きは活発化している。最需要期の年末年始に向かい、11月中はおおむね高に値を上げる。涼味商材でもある生鮮ムネの動き自体はやや鈍さがみられるものの、節約志向なども背景に相場の高止まりは続くと考えら

れる。  
◇輸入物 ブラジル、タイとも自国内での消費が旺盛なことなどから、価格の高騰が続く。10、11月の

ブロイラー現物相場 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	600~650
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

単位:円/キロ

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	500~520
ブラジル産モモ角切り	480~500
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	500中心
タイ産モモ角切り(25~30g)	500中心
米国産モモ串	玉なし

日本向け輸出量も少なかったことから、特に国内在庫が少ないブラジル産モモ正肉が値を上げた。

### 畜産物卸売価格の推移

(令和 7年 10月)  
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上		牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵 東京	鶏肉 東京	
	東京		東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年 9月	668	6,940	2,066	1,590	1,077	1,277,605	90,087	256	641	381
6年 10月	620	7,477	2,091	1,562	1,036	1,458,325	99,479	275	669	393
上旬	619	2,673	2,091	1,581	1,044	63,225	4,548	270	660	390
中旬	626	1,976	2,066	1,542	1,064	51,271	3,290	276	668	394
下旬	617	2,828	2,109	1,557	1,040	65,456	3,525	280	677	394
7年 9月	648	6,538	2,092	1,508	1,134	1,313,681	90,169	320	768	589
7年 10月	558	7,542	2,230	1,585	1,207	1,479,100	93,720	326	741	574
上旬	563	2,793	2,221	1,577	1,179	63,825	4,311	325	741	572
中旬	532	1,883	2,202	1,563	1,175	52,171	3,813	325	747	576
下旬	571	2,866	2,256	1,605	1,234	67,033	4,039	327	737	574
1日(水)	600	149	2,245	1,628	-	61,800	4,250	325	-	-
2日(木)	568	280	2,239	1,549	1,179	65,600	3,980	325	738	573
3日(金)	563	433	2,226	1,618	-	56,700	4,360	325	726	576
4日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	733	570
5日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6日(月)	555	334	2,173	1,501	-	65,000	4,780	325	747	569
7日(火)	571	418	2,230	1,584	-	64,700	4,800	325	749	571
8日(水)	568	271	2,213	1,551	-	65,900	4,660	325	-	-
9日(木)	547	429	2,215	1,575	-	66,100	3,700	325	744	571
10日(金)	556	479	2,199	1,540	-	64,800	3,960	325	747	576
11日(土)	-	-	-	-	-	3,400	-	-	759	579
12日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13日(月)	-	-	-	-	-	10,400	360	-	-	-
14日(火)	554	371	2,200	1,578	1,175	73,000	4,830	325	754	577
15日(水)	536	406	2,175	1,534	-	72,100	4,540	325	-	-
16日(木)	534	365	2,233	1,565	-	70,200	4,020	325	750	577
17日(金)	526	382	2,227	1,594	-	67,100	4,360	325	735	575
18日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	738	576
19日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20日(月)	508	359	2,033	1,592	-	69,000	4,770	325	746	572
21日(火)	513	325	2,245	1,590	-	68,400	4,250	325	751	583
22日(水)	526	216	2,235	1,576	1,234	67,600	4,540	325	-	-
23日(木)	519	326	2,233	1,578	-	67,000	3,640	325	737	578
24日(金)	543	328	2,263	1,605	-	63,100	4,020	325	731	577
25日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	746	574
26日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27日(月)	565	324	2,228	1,586	-	67,100	4,220	325	729	562
28日(火)	618	401	2,266	1,593	-	67,700	3,900	330	737	575
29日(水)	608	191	2,226	1,631	-	65,800	3,880	330	-	-
30日(木)	603	299	2,338	1,624	-	68,100	3,640	330	739	573
31日(金)	619	456	2,349	1,669	-	68,500	4,260	330	725	572

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値  
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値  
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)  
 注4) 「-」は取引無し  
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月6日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,326	2,595	2,273	-	-
		安値	2,364	2,231	2,161	-	-
		平均	2,800	2,387	2,218	-	-
	90頭	頭数	75	12	3	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,280	2,542	2,279	-	-
		安値	2,321	2,282	2,114	-	-
		平均	2,613	2,386	2,221	-	-
	198頭	頭数	140	49	9	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,311	-	-	-	
1頭	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,634	1,590	1,510	-
		15頭	頭数	-	3	10	2
	雌 C	平均	-	-	-	1,410	-
		3頭	頭数	-	-	-	3
	去 B	平均	1,919	1,791	1,638	1,539	-
39頭		頭数	1	6	18	14	-
去 C	平均	-	1,544	1,544	1,458	-	
7頭	頭数	-	1	2	4	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	1,112	-	(競り)	(相対)	
売買	430	1,145	227.5	-	-	65

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	高値	2,398	1,974	1,691	1,667	-
	安値	-	-	1,751	1,523	1,459
和 去 A	高値	2,550	2,342	2,156	1,620	-
	安値	-	-	-	-	-
乳 雌 B	高値	-	-	-	1,070	1,070
	安値	-	-	-	1,069	1,013
乳 去 B	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 雌 B	高値	1,915	1,693	1,565	1,436	-
	安値	-	-	-	1,401	974
交 去 B	高値	1,850	1,801	1,639	1,523	-
	安値	-	1,599	1,546	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	616	748	869	864	583
	安値	583	540	508	432	324
	平均	597	569	544	526	479
	頭数	( 4)	( 447)	( 450)	( 162)	( 82)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	

[大阪食肉卸売市場] 11月6日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,589	2,270	-	-	-
(頭数)	( 24)	( 16)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( 3)	( -)
和 去 A	2,453	2,255	-	-	-
(頭数)	( 10)	( 5)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,905	1,640	1,506	-
C	-	-	1,577	1,510	-
交雑去 B	-	1,817	1,629	1,511	-
C	-	1,614	-	-	-
豚	-	594	562	546	483

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	11月6日	11月5日	(11月累計)
豚	71,500	69,900	214,400
成牛計	4,080	4,890	14,130
和牛雌	1,030	1,380	3,760
和牛去勢	1,200	1,420	4,170
乳牛雌	710	680	2,120
乳牛去勢	350	370	1,180
交雑雌	440	520	1,430
交雑去	350	500	1,450

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月6日

	1,593円	(前日 1,593円)
東京		
	1,570円	(前日 1,644円)
大阪		

[豚・全農建値] 11月6日

上	中	取引頭数	市況
582円	559円	1,314頭	急落

と畜	牛 58頭	豚 146頭	牛概況	もちあい
売買	牛 101頭	豚 85頭	豚概況	続落

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月6日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	583 (583)	- (-)	6,293	-	もちあい
仙台 [中]	606 (578)	536 (498)	454	26	反発
栃木 [地]	596 (-)	527 (503)	1,815	51	上伸
茨城 [地]	589 (592)	557 (561)	1,329	838	続落
群馬 [地]	552 (574)	463 (501)	2,394	477	続落
さいたま [中]	584 (589)	575 (580)	166	170	小幅続落
東京 [中]	569 (595)	544 (573)	1,112	1,145	急落
横浜 [中]	593 (607)	560 (574)	688	687	続落
山梨 [地]	605 (630)	617 (561)	228	199	続落
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	596 (590)	583 (576)	1,001	268	強もちあい
京都 [中]	610 (-)	594 (-)	63	107	もちあい
大阪 [中]	594 (609)	562 (569)	146	69	続落
神戸 [中]	606 (697)	594 (694)	55	125	下押し
岡山 [地]	624 (620)	615 (607)	274	372	もちあい
広島 [中]	- (605)	- (569)	408	29	-
福岡 [中]	621 (594)	601 (573)	528	213	急伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 10月30日～11月5日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,179,958 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,084	1,177	1,217	1,167	58,272
うで	693	786	818	782	84,229
ロース	1,042	1,145	1,185	1,130	122,445
ばら	1,172	1,260	1,372	1,250	141,313
もも	734	760	805	766	135,562
ヒレ	1,096	1,163	1,163	1,144	17,474
セット	867	962	1,058	974	620,663

◇近畿圏 総重量 673,846 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,247	1,341	1,228	57,043
うで	659	734	810	746	104,427
ロース	1,026	1,080	1,271	1,131	93,717
ばら	1,253	1,274	1,361	1,290	125,938
もも	659	733	826	735	153,407
ヒレ	1,135	1,281	1,344	1,250	9,890
セット	876	962	1,066	968	129,424

[食鳥正肉日経相場] 11月5日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	648	711	1,030	6
ムネ	487	528	622	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月4日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,002	776	550	600	650
安値	650	480	290	360	350
平均	742	569	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーショナリー

#### 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します